

〔 横浜市陶芸センター 〕
平成 24 年度業務報告及び収支決算
〔 シンリュウ(株) 〕

1 施設の概要

施設名	横浜市陶芸センター
所在地	横浜市中区本牧三之谷 59-3
構造・規模	木造平屋建て及び登り窯 1 棟(別棟)
敷地・延床面積	延床面積 396㎡、登り窯延床面積 60㎡
開館日	平成 5 年 8 月

2 指定管理者

法人名	シンリュウ 株式会社
所在地	埼玉県朝霞市上内間木 514-2
代表者	小澤 忠
設立年月日	平成 2 年 4 月 26 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

平成 24 年度は、昨年度開始した第 2 自由作陶教室を継続し、その定着を図るなど、各講座の受講率を高め、また、陶芸図書貸出システムのさらなる充実と、第 2 回目となる全国公募・横浜アマチュア陶芸展を開催するなどして、横浜市陶芸センターの使命である、横浜市における作陶活動の拠点施設として、陶芸の普及、市民文化の振興に寄与するため、限りあるスペースを最大限に活用する努力と、陶芸文化の発信役という新しい役割を確立するために尽力しました。

(2) 24 年度の業務の方針及び達成目標の総括

①事業の総括

- ・第 2 自由作陶教室の週 1 回開催を継続し、自由作陶教室利用者の増加に対処するとともに、より施設の有効利用を図ることができました。
- ・第 2 回全国公募・横浜アマチュア陶芸展を開催し、全国から多数の応募を得て、陶芸祭時に発表しました。
- ・陶芸図書貸出システムが定着し、利用者の作陶支援に役立っている中、図書の補充等、内容の

充実を図りました。

②運営の総括

- ・年間 356 日開館し、適切な施設運営と、利用者の利用促進に努めました。
- ・貸室及び自主事業の延利用者数は、合わせて 17,787 人となり、前年比 104%、741 人の増となりました。平成 18 年度の第 1 期より、毎年の増加となっています。

③管理の総括

- ・点検等を確実にし、施設、設備、備品の適切な管理ができました。
- ・汚泥管理、環境維持管理対策として、排水溝の定期的清掃と柵の増設を行ないました。

① その他の総括

- ・日報、月報、業務計画書、業務報告書の作成、業務評価、その他指定管理者業務について、適切に対応し、また、横浜市との連絡調整を密にし、円滑な業務遂行に努めました。

4 業務の達成状況

(1) 事業について

ア 陶芸の普及と市民の作陶技術向上の支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 体験型教室の開催	①●□一日体験教室を年間 33 日開催する。目標利用者数 550 人 ●□親子陶芸教室を年間 18 回開催する。目標利用者数 700 人 ●□陶芸フェスティバル(陶芸祭)期間中、手びねり体験、ロクロ体験、楽焼の教室を開催する。目標利用者数 110 人	①初めて陶芸に接する方の体験教室として、計画通り開催できました。一日体験教室の利用者数は目標を下回ったものの、公園来園者の飛び込み参加も受け入れ、気軽に利用できる施設をアピールできました。また、夏休み親子陶芸教室と陶芸祭体験教室は、好評を得て、利用者数も目標を達成しました。	①●一日体験教室の開催 □開催回数 33 回 33 日 □利用者数 408 人 ●親子陶芸教室の開催 □開催回数 18 回 18 日 □利用者数 722 人 ●陶芸祭期間中に体験教室を 3 講座開催 □開催回数 4 回 4 日 □利用者数 110 人
② 基礎教室の開催	②●□手びねり初級教室を年間 3 回、24 日開催する。目標利用者数 460 人 ●□手びねり中級教室を年間 3 回、24 日開催する。目標利用者数 460 人 ●□電動ロクロ初級教室を年間 3 回、21 日開催する。目標利用者数 350 人 ●□電動ロクロ中級教室を年間 3 回、21 日開催する。目標利用者数 350 人	②計画通り開催できました。初級教室への新規利用者が増加したことと、中級教室の講座内容、テーマを研究したことにより、利用者の方が基礎から学び直す目的で受講されるケースもあり、昨年より利用者が増えました。	②●手びねり初級教室開催 □開催回数 3 回 24 日 □延利用者数 539 人 ●手びねり中級教室開催 □開催回数 3 回 24 日 □延利用者数 596 人 ●電動ロクロ初級教室の開催 □開催回数 3 回 21 日 □延利用者数 466 人
③ 自律型教室の開催	③●□自由作陶教室を年間 350 日開催。目標利用者数 6100 人 ●□第 2 自由作陶教室を年間 48	③自分のペースで作陶できる自由作陶教室、第 2 自由作陶教室は計画通り開催できました。昨年度新規開催した	●電動ロクロ中級教室の開催 □開催回数 3 回 21 日

	日開催。目標利用者数 910 人	第2自由作陶教室の定着もあり、自由作陶教室の利用者が大幅に増え、陶芸センターのメイン教室となっています。	<input type="checkbox"/> 延利用者数 409 人 <input checked="" type="checkbox"/> 自由作陶教室の開催 <input type="checkbox"/> 開催日数 350 日 <input type="checkbox"/> 延利用者数 7,379 人 <input checked="" type="checkbox"/> 第2自由作陶教室開催 <input type="checkbox"/> 開催日数 48 日 <input type="checkbox"/> 延利用者数 1,023 人
--	------------------	--	--

イ 市民の主体的な作陶活動の支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①専門技能習得教室の単発講座の開催</p> <p>②多くのテーマの講座の企画、実施</p> <p>③作品発表の機会の提供</p>	<p>①●<input type="checkbox"/>専門技能習得講座として、電動ロクロ水挽き徹底教室を年間3回、12日、絵付け教室を年間2回、6日、特定のやきもの作り教室を年間2回、8日開催する。目標利用者数410人</p> <p>②●基本となる酸化焼成の他に、還元焼成、上絵付け焼成、サヤ鉢焼成、楽焼焼成など各種の焼成も、別途講座にて実施する。 ●<input type="checkbox"/>普段の作品サイズ制限を超えた、大物が焼成できる講座を、月2名ずつ、毎月開催する。 ・そのほか利用者の要望等も考慮しながら、単発講座を企画し、できるだけ実施できるよう努める。</p> <p>③●<input type="checkbox"/>利用者の作品発表の場として、陶芸祭時に作陶展を年1回開催する。</p>	<p>①専門技能習得教室を計画通り開催し、利用者目標も達成しました。</p> <p>②各種焼成を体験できるよう、酸化焼成の他、還元焼成、大物焼成、楽焼焼成、サヤ鉢焼成、上絵付け焼成を講座として実施しました。 また、利用者の要望等を踏まえ、追加講座として、一日絵付け教室(金彩、染付、上絵付け)、楽茶碗焼成講座を実施しました。</p> <p>③陶芸祭のメインの催し物として、作陶展を開催し、利用者が日頃の成果を発表しました。今年度は、第2回となる全国公募展も併催したため、発表の場がさらに広がりました。</p>	<p>①●<input type="checkbox"/>電動ロクロ水挽き徹底教室を年3回12日、絵付け教室を年2回6日、特定のやきもの作り教室を年2回8日開催 <input type="checkbox"/>延利用者数 416 人</p> <p>②●各種焼成講座開催 <input type="checkbox"/>還元焼成講座参加者 730 人、大物焼成講座参加者 24 人、 【追加講座の開催】 ●楽茶碗焼成講座の開催 <input type="checkbox"/>開催回数 1回4日 <input type="checkbox"/>参加者 42 人 ●一日絵付け教室の開催 <input type="checkbox"/>開催回数 3回3日 <input type="checkbox"/>延利用者数 48 人</p> <p>③<input type="checkbox"/>作陶展出品者 84 人</p>

ウ 市内の公益的作陶活動に対する支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>①陶芸指導者対象の研修講座の開催</p> <p>②市民団体等への団体教室の開催</p>	<p>①●<input type="checkbox"/>小中高校の陶芸担当指導者のための研修講座を年1回開催する。目標利用者数20人</p> <p>②●<input type="checkbox"/>各団体の作陶要望に応じて個別教室を設定し、団体教室として年10件以上実施する。目標利用者数280人</p>	<p>①今年度は、従来の1日の講座からシリーズ型2日間の講座として実施し、陶芸指導に当たってのアドバイスや講義、実技両面での指導を行いました。</p> <p>②学童保育を中心に各団体</p>	<p>①●指導者研修講座の開催 <input type="checkbox"/>開催回数 1回2日 <input type="checkbox"/>利用者数 45 人</p> <p>②●団体教室の開催 <input type="checkbox"/>開催回数 15回13日 <input type="checkbox"/>利用者数 348 人</p> <p>③<input type="checkbox"/>指導者研修講座のDM</p>

<p>③ 公益的作陶活動に対する情報提供等による支援</p>	<p>③ □ 小中高校に対し、研修講座の案内のほか施設紹介や陶芸祭等の情報を、年1回DMにて提供する。</p> <p>□ 学童保育を中心に年1回DMを実施し、団体教室の案内のほか施設紹介等の情報を提供し、施設の利用促進を図る。</p> <p>・学校をはじめ作陶活動を行っている団体、個人からの作陶に関する相談あるいは出張教室等の要望があった場合は、適切に対応する。</p>	<p>の個別教室として、団体教室を実施しました。実施件数、利用者人数ともに、達成指標を上回ることができました。</p> <p>③ 小中高校・各施設の陶芸指導者に対し、指導者研修講座の案内DMを、また、学童保育に対し、団体教室の案内DMを実施しました。学童保育向けDMは効果が高く、情報提供という目的のためにも引き続き実施していく予定です。</p>	<p>年1回実施</p> <p>□ 団体教室のDM、年1回実施</p> <p>□ 川井小学校からの粘土焼成テスト依頼への対応</p>
--------------------------------	--	---	--

エ 陶芸と市民とを結びつける場について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>① 気軽に参加できる教室の開催</p>	<p>① ・見学者がその場で陶芸体験・絵付け体験ができるようにした一日体験教室を開催し、三溪園や本牧市民公園とも連携し、より多くの人に陶芸体験機会を提供する。</p>	<p>① 全くの初心者が、気軽に参加できる教室として、一日体験教室を、土日に年間33回開催しました。本牧市民公園に看板を置いてもらうなど協力をいただき、飛び込み客の募集活動を行いました。</p>	<p>① 定員に対する受講率は低く、採算性が低いですが、気軽に体験できる場づくりという戦略的見地から今後も継続する。</p>
<p>② 市民が興味を持つイベントの開催</p>	<p>② ・陶芸祭の開催により一般の来館者を増やすことで、施設の周知を図るとともに、期間中に開催する体験教室では参加条件を設けずだれでも土に親しめる機会を提供する。</p>	<p>② 陶芸祭を開催し、作陶展や体験教室を実施しました。利用者がボランティアとして運営にもかかわり、多くの一般市民の参加も得て、イベントを盛り上げました。</p>	<p>② □ 11月1日より4日間開催。来場者は2,170人</p> <p>体験教室は、手びねり、ロクロ、楽焼の3講座を実施。作陶展の人気投票アンケートで、くじ引きにより当たるオリジナル箸置き等の景品も好評。</p>
<p>③ 市民の目に触れる情報の発信</p>	<p>③ ・陶芸祭を核にした広報、広告活動を展開し、集客増を図る。また、地元自治会の協力を得られるよう、アプローチを図る。</p>	<p>③ 陶芸祭チラシを作成し、PRボックスでの配布、DM、新聞折り込み広告のほか、記事掲載のための広報活動を実施しました。また、地元自治会の協力を得て、掲示板へのチラシ掲出を行いました。</p>	<p>③ □ 陶芸祭関連記事掲載は、朝日新聞、はまかぜ、本牧だより、広報よこはま、ヨコハマアートナビの5紙</p> <p>□ 本牧・根岸地区連合町内会掲示板に陶芸祭のチラシ掲載。</p>

オ 持てる資源を最大限に活用した取り組みについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>① 登り窯施設</p>	<p>① ・登り窯を、見学用施設として</p>	<p>① 見学用施設として活用す</p>	<p>① 一日体験教室をはじめ、各</p>

<p>の活用</p> <p>② 登り窯に関連付けた穴窯焼成講座の実施</p>	<p>活用するほか、各講座案内パネルを掲出するなど、公園利用者に対して施設の周知を図る。</p> <p>・登り窯を施設の象徴的扱いとし、印刷物等で施設紹介する際には、登り窯の写真も掲載する。</p> <p>②・25 年度実施予定のため、今年度は休み。</p>	<p>るほか、公園利用者に対し、当センターの認知及び一日体験教室への参加誘導を行いました。</p>	<p>講座案内パネルを掲出。また、印刷物には登り窯を含めた写真を掲載し、陶芸施設としてのイメージ醸成に役立てた。</p>
--	---	---	--

(2) 運営について

ア 作陶活動のための施設の提供について

<p>[取組内容]</p> <p>① 適切に施設を開館する</p> <p>② 適切に利用料金設定を徴収する</p> <p>③ 貸室による自由な作陶機会、場の提供</p>	<p>[達成指標]</p> <p>① <input type="checkbox"/> 開館について</p> <table border="1" data-bbox="434 824 762 922"> <tr> <td>開館日数</td> <td>356 日</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>9 時～17 時</td> </tr> </table> <p><input type="checkbox"/> 休館日 9 日 (休館日：清掃・空調機点検 2 日、電気点検 1 日、年末年始 6 日)</p> <p><input type="checkbox"/> 開館時間、休館日については、館内掲示やホームページ等で周知を図る。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 利用料金について</p> <table border="1" data-bbox="434 1258 750 1550"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>一日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陶芸成形室</td> <td>500 円</td> <td>500 円</td> <td>1000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 焼成料(酸化焼成)は、焼成する前の粘土 100 g までごとに 100 円</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 貸室稼働率 98% (利用日数 350 日/開館日数 356 日)</p> <p><input type="checkbox"/> 貸室目標利用者数 5,100 人</p> <p><input type="checkbox"/> 貸室目標利用料収入 (酸化焼成料含む) 4,160,000 円</p>	開館日数	356 日	開館時間	9 時～17 時		午前	午後	一日	陶芸成形室	500 円	500 円	1000 円	<p>[実施内容]</p> <p>① 計画通り実行し、適切に開館、運営ができました。</p> <p>② 計画通り実行し、適切な料金設定と徴収を行いました。</p> <p>③ 成形室の貸し出しにより、自由な作陶機会、場の提供を行いました。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>① <input type="checkbox"/> 開館日数 356 日</p> <p><input type="checkbox"/> 休館日 9 日</p> <p><input type="checkbox"/> 館内掲示やホームページで周知</p> <p>② <input type="checkbox"/> 陶芸成形室利用料金</p> <p>午前、午後各 500 円</p> <p>一日 1,000 円</p> <p><input type="checkbox"/> 酸化焼成料</p> <p>100 g ごとに 100 円</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 利用状況等について (稼働率は、日にち単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸室 <ul style="list-style-type: none"> 利用日数 350 日 稼働率 98% 延利用者数 5,278 人 ・自由作陶教室 <ul style="list-style-type: none"> 利用日数 350 日 稼働率 98% 延利用者数 7,379 人 ・講座用教室 <ul style="list-style-type: none"> 利用日数 251 日 稼働率 71% 延利用者数 5,130 人 <p><input type="checkbox"/> 貸室利用料収入 (酸化焼成料含む)</p> <p style="text-align: right;">4,248,700 円</p>
開館日数	356 日														
開館時間	9 時～17 時														
	午前	午後	一日												
陶芸成形室	500 円	500 円	1000 円												

イ 利用促進及び利用者サービスの向上について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設の利用促進、効果的な広報・宣伝活動	<p>①□通年使用の施設紹介パンフレットを改訂し（年1回）、広報ツールとして活用のほかPRボックスにて配布する。</p> <p>□すべての講座について、募集チラシを作成、館内にて配布する。</p> <p>□陶芸祭チラシを作成し（年1回）、PRボックスでの配布、新聞折り込み広告、DM等で活用する。</p> <p>・市の刊行物、フリーペーパー、一般紙誌、陶芸誌等のメディアへの情報提供により、記事掲載を推進する。</p>	<p>①施設の利用促進のため、計画通り効果的な広報、宣伝活動を行いました。</p> <p>②利用者アンケートによる利用者の声、要望を把握し、運営に反映させるべく、小道具の貸し出しや、講座の追加開催、陶芸ライブラリーの充実、全国公募展の開催等、利用者サービス向上に取り組ましました。</p> <p>その結果、高い満足度を得ることができました。</p>	<p>①□通年使用の施設紹介パンフレット作成 年1回</p> <p>□すべての講座について、募集チラシ作成</p> <p>□陶芸祭チラシ作成年1回</p> <p>□新聞折り込み広告の実施年1回</p> <p>□PRボックスにてパンフレット等の配布年4回</p> <p>□DMの実施 年4回</p> <p>□記事掲載実績 10媒体 25回</p>
②利用者サービス向上の取組	<p>②・貸出用小道具を配置し、必要な方には無償で提供する。</p> <p>□すべての講座の利用者に対し、アンケートを実施し、満足度及び利用者ニーズ等を把握し、今後の運営に反映させる。</p>	<p>③ホームページの新着情報欄の更新等、効果的な運用を行いました。また、作品ギャラリーをより充実させるため、全国公募 2012 横浜アマチュア陶芸展の入選・入賞作品を掲載し、ネット特別賞の投票募集をするなど、活用を図りました。</p>	<p>②□小道具の無料貸し出し実施</p> <p>□すべての講座について、利用者アンケート実施（回収数、833通）</p> <p>・教室内容満足度 94%（満足 79%、やや満足 15%）</p> <p>・施設設備満足度 88%（満足 68%、やや満足 20%）</p> <p>・スタッフ満足度 96%（満足 85%、やや満足 11%）</p>
③ホームページの作成と運用	<p>③□ホームページの新着情報欄を月1回以上更新し、最新の情報を案内する。</p> <p>・全国公募展や陶芸図書貸出システムの告知等で活用する。</p> <p>・ホームページの作品ギャラリーをより充実させ、陶芸祭人気作品集のほか、利用者の作品紹介等身近なメディアとして活用する。</p>		<p>③ □新着情報欄の更新 年22回</p> <p>□平成24年度全国公募展、陶芸ライブラリーの紹介</p> <p>□作品ギャラリーに、陶芸祭作陶展の人気作品集、全国公募展入選、入賞作品紹介</p>

ウ 組織的な施設運営について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]						
①適切な人材の配置を実施	<p>①□人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="416 2018 772 2065"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考				①計画通り実行し、適切な人員配置と組織的な施設運営	①□人材の配置は、指標の通り達成
項目	人数	備考							

	センター長	1人		を行いました。 ②計画通り実行し、適切かつ効果的な勤務体制を築くことができました。	②□勤務体制は、指標の通り達成 □職務分担に沿って、効果的な業務遂行を達成
	所長	1人	事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務		
	社員	2人	一部講師・貸室アドバイザー兼務		
	事務員	3人	ローテーション勤務		
	講師	8人	ローテーション勤務		
	貸室アドバイザー	3人	一部講師兼務、ローテーション勤務		
	助手	2人	非常勤		
②適切かつ効果的な勤務体制の確立	②□勤務体制について センター長は月3日その他随時必要時、所長は週3日出勤。各講座指導部門では、講師、貸室アドバイザー、助手をローテーション勤務とし、講座運営に支障のないようにする。事務部門では、毎日2人以上のローテーション勤務体制とする。 ・職務分担表の作成、徹底により、効果的な業務遂行を行う。				

エ 施設見学等への対応について

[取組内容] ①施設見学等への対応	[達成指標] ①・施設見学や施設撮影、取材等について、利用者の妨げにならない範囲で、積極的に対応する。	[実施内容] ①利用者の妨げにならないよう配慮し、積極的に対応しました。	[達成状況] ①□一般見学 年1,295人 □取材 年3回 tvk「ありがとッ！」 Webマガジン「はまれぽ」 Webサイト「かなたび」
----------------------	--	---	---

オ その他の運営目標について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①経費削減の努力	①・経費削減のため、講師ローテーションの工夫や事務経費削減に努める。 ・教室運営にかかわる補助的作業について、出来る範囲のものは職員の作業により、経費抑制を図る。	①計画通り経費削減に努めました。特に、社員の貸室アドバイザー兼務により、事業費の削減が、また、事務経費抑制により、事務費の削減ができました。 ②第2自由を含む自由作陶教室と基礎教室の受講率が向上したことにより、事業収入を大きく増やすことができました。 ③第2回全国公募展を開催し、また、陶芸ライブラリーを充実することにより、陶芸知識・情報の基地化を進めました。 ④自主事業での優遇措置として、介護ボランティアいきいきポイント事業への協力、濱ともカード事業への協賛を行いました。	①□事業費実績 14,989 千円 (対予算比 86%) □事務費実績 4,775 千円 (対予算比 91%) ②□事業収入実績 21,702 千円 (対予算比 117%) □陶芸雑誌・陶工房にて全国公募展編集タイアップ実施 □他施設との共催講座企画立案、検討中 ③□全国公募 2012 横浜アマチュア陶芸展開催 応募数：22 都道府県より 286 人、417 作品 □陶芸ライブラリー利用者数 151 人、225 冊 □図書の補充 26 冊 ④□いきいきポイント特典として、一日体験教室 10 組 20 名の招待券を提供 □濱ともカード提示により、陶芸祭手びねり体験教室の受講料を半額に
②指定管理料のみに依存しない収入構造の検討	②・自主事業の受講者を効率的に獲得し、受講率を高める。 ・全国公募展を実施するにあたり、外部とのタイアップを検討する。 ・企業との協賛講座企画を立案し、実現の可能性を探る。		
③陶芸知識・情報の基地化を進める	③●第2回目の全国公募・横浜アマチュア陶芸展を開催する。 ・陶芸図書貸出システムの蔵書を補充するとともに、PRの強化を図る。		
④自主事業での優遇制度の実施	④・介護ボランティアいきいきポイント事業への協力、濱ともカード事業への協賛等、市の事業への協力の中で、講座の割引や無料提供を行う。		

(3) 管理について

ア 保守管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①施設の適切な保守管理	①□施設の毎日の見回り点検により、適切な維持管理を行う。そして、早期に修繕箇所を発見し、横浜市に報告するとともに対策を検討する。	①施設の毎日の見回りのほか、12月には施設簡易点検報告を行うなど、適切な保守管理に努めました。講座用教室の木部土台腐食については、市と協議し、対策を検討していきます。	①□毎日の見回り点検及び年1回の施設簡易点検報告。 ②□空調、給排水、消防、ガス等、設備の日常管理、機能点検実施 □空調機定期点検 年2回 □粘土釉薬を直接下水に流さないよう毎日々下洗い
②設備の適切な保守管理	②□空調機器定期点検を年2回行う。 ・日常使用していく中で、不具合、異常がないか常にチェック	②空調設備、給排水設備、消防設備、ガス設備等につい	

<p>③ 備品等の適切な保守管理</p>	<p>し、管理を徹底することにより、事故を未然に防ぐ。</p> <p><input type="checkbox"/> 粘土や釉薬を直接下水に流さず、下洗い箱を設け一度沈殿させたうえで、上水だけを流すよう毎日の作業として徹底する。</p> <p><input type="checkbox"/> 排水溝、柵の掃除を年2回実施し、汚泥量を記録するとともに、適切に汚泥処理をする。</p> <p><input type="checkbox"/> 柵を増設し、粘土や釉薬の下水への流れ込みを最小限にする。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 陶芸窯の安全な運用のため、毎月1回の点検のほか年1回の定期点検を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 全ての焼成の焼成管理表を作成し、適切な焼成管理を行う。</p>	<p>て、毎日の使用の中で常に管理を徹底することにより、設備の適切な保守管理に努めました。特に、下水への流れ込みを抑え、汚泥の適切な管理を行うため、柵を増設しました。また、設備老朽化による水道栓、蛍光灯器具等の不具合に対し、修繕を行いました。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 陶芸窯の適切な運転、保守管理に努めるとともに、電動ロクロ、土練機等その他陶芸機器についても、機能点検を行い、適切な保守管理に努めました。</p>	<p>管理を徹底</p> <p><input type="checkbox"/> 排水溝、柵の掃除年2回</p> <p><input type="checkbox"/> 修繕実績</p> <p>洗浄便座交換工事1件</p> <p>柵の増設1件</p> <p>ウォーターバルブ、水道栓金具の交換修理1件</p> <p>蛍光灯器具の交換工事1件</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 陶芸窯の毎月点検実施</p> <p><input type="checkbox"/> 陶芸窯の年1回定期点検実施</p> <p><input type="checkbox"/> 焼成管理表の作成</p> <p><input type="checkbox"/> 修繕実績</p> <p>電動ロクロ修理1台</p> <p>電気窯ヒータ線全面張り替え工事1件</p>
----------------------	---	--	---

イ 環境維持管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>① 施設を清潔に、そして安全な状態に保つ努力</p>	<p>① <input type="checkbox"/> 清掃業務は清掃業者に委託し、毎日清掃と年2回の定期清掃を行うとともに、建物周辺の美観維持のため、草刈り等適宜手入れをする。</p>	<p>① 施設を清潔に、そして安全に保てるよう努力しました。</p>	<p>① <input type="checkbox"/> 委託清掃業者による毎日清掃と年2回の定期清掃の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 施設周りの草刈り、屋根・樋掃除を適宜実施</p>
<p>② 廃棄物の抑制と適正な処理</p>	<p>② <input type="checkbox"/> 使用済み粘土、削りかす粘土、使用済み釉薬は、出来るだけ再利用するため分別回収箱を設けるなど、毎日適切に管理する。</p> <p><input type="checkbox"/> 再生を基本とし、廃棄物を最小限に抑える努力をするが、最終的に再生できない粘土や釉薬は産業廃棄物として、横浜市ルート回収にて適正に廃棄する。管理状況を月1回チェックする。</p>	<p>② 使用済み粘土や釉薬は、できるだけ再生をし、産業廃棄物を抑える努力をしました。しかし、最終的に再生できないものは、産業廃棄物として、ルート回収で適正に廃棄しました。</p>	<p>② <input type="checkbox"/> 粘土釉薬の再生のため、分別回収を毎日徹底</p> <p><input type="checkbox"/> 産業廃棄物の毎月管理、ルート回収による適正な廃棄</p>

ウ 保安警備業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 適切な保安警備業務の遂行	①・施設の保安警備業務は警備業者に委託し、24 時間警備を行う。(機械警備)	① 計画通り、適切な保安警備業務を行いました。	① 委託警備業者による、24 時間警備の実施

エ 公園管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 適切な公園管理業務の遂行	①・公園内にある施設ということを常に意識し、環境維持に努めるとともに、本牧市民公園指定管理者との連絡調整を行う。	① 計画通り、適切な公園管理業務を行いました。	① 公園内の環境維持に努めるとともに、本牧市民公園指定管理者との連絡調整を実施

オ 防災等について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 防災等への適切な対応	① <input type="checkbox"/> 利用者も含めた避難訓練を年 2 回実施する。 ・職員、講師に対し、防災マニュアル、緊急連絡網を確認、対応の徹底を図る。 ・陶芸窯の焼成について、スタッフの安全教育、防火管理を徹底し、1 年間無事故を目指す。	① 計画通り、防災等への適切な対応ができました。避難訓練では、利用者、清掃業者の方にも協力をもらい、該当曜日全員参加で行いました。	① <input type="checkbox"/> 避難訓練を年 2 回実施 (9 月、3 月) ・防災マニュアル、緊急連絡網の確認、徹底 ・窯焼成の安全教育、防火管理の徹底 ・1 年間無事故達成

カ 緊急時の対応について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 緊急時の対応	①・事件、事故、災害等の緊急事態が発生した場合は、ただちに必要な措置をとるとともに、市と協力して適切に対応する。	① 計画通り、緊急時に、適切な対応をしました。	① 特に緊急事態の発生は、なかったが、急病人への対応等、適切に対処

キ 光熱水費の削減努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 光熱水費の削減への取組	①・電力、水、ガスの使用量について、記録、分析し、光熱水費の削減に努める。	① 計画通り、光熱水費の削減に取り組みました。昨年度に大幅な節電をしたにもかかわらず、さらに若干の節電ができました。	① 電力、水、ガスの使用量実績について毎月記録、分析 <input type="checkbox"/> 年間電気使用量 8,247 k w (対前年比 98%) (対前々年比 75%)

(4) その他について

ア 日報及び月報の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①日報、月報の作成と管理	①・日報、月報を作成・管理する。 ・日常業務の中でPDCAサイクルを推進することにより、短いサイクルでの早い対応ができるよう、努力する。	①計画通り、日報、月報の作成と管理を行いました。	①・日報、月報の作成、管理 ・利用者の要望等を受け、新講座の追加開催 4講座

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①業務計画書、業務報告書の作成と管理	①・業務計画書及び業務報告書について、定められた様式に沿って作成、管理を行う。	①計画通り、業務計画書、業務報告書の作成と管理を行いました。	①業務計画書、業務報告書の作成と管理

ウー1 業務評価（モニタリングの実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①モニタリングの実施による業務評価	①・モニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について報告する。	①計画通り、モニタリングの実施による業務評価を行いました。	①利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況を報告

ウー2 業務評価（自己評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①自己評価の実施による業務評価	①・業務実績及び利用者の満足度や意見を基に、自己評価を行い、以降の業務改善につながるよう努める。	①計画通り、自己評価の実施による業務評価を行いました。	①業務実績及び利用者の満足度や意見を基に、自己評価を実施

ウー3 業務評価（第三者による評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①第三者評価の実施による業務評価	①・業務評価にあたり、外部評価委員会による第三者評価が実施される場合は、横浜市の指示に従い対処する。	①24年度内に、第三者評価の実施は、ありませんでした。	

エ 保険及び損害賠償の取り扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
①保険の加入	①・賠償責任保険、動産総合保険、	①計画通り、保険の加入によ	①賠償責任保険、動産総合保

と損害賠償への対応	レジャー・サービス費用保険に加入し、契約書および保険証書の写しを市に提出する。	り、損害賠償への備えを整えました。	険、レジャー・サービス費用保険に加入
-----------	---	-------------------	--------------------

オ 法令の遵守と個人情報保護について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 法令の遵守と個人情報保護への取組	①・法令、条例及び規則を遵守し、利用者の個人情報の取り扱いを適正に行い、事故のないように努める。	①計画通り、法令の遵守と個人情報保護への取組を行いました。	①法令、条例及び規則の遵守 利用者の個人情報の適正な取り扱い

カ 情報公開への積極的取組について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 情報公開への積極的取組	①・情報公開規程にのっとり、情報開示請求等に対し、適切に対応する。 ・業務計画書、業務報告書をはじめ、施設運営情報等をホームページで公開していく。	①計画通り、情報公開への積極的取組を行いました。	①・情報公開規程の作成 ・業務計画書等、施設運営情報のホームページでの公開

キ 市及び関係機関等との連絡調整について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① 市及び関係機関との連絡調整	①・月次モニタリングにて業務の報告、確認を行うが、重要な案件、緊急な案件については、随時市に報告・協議し、円滑な業務遂行を目指す。	①計画通り、市及び関係機関との連絡調整を行いました。	①月次モニタリングでの業務の報告、確認のほか、随時市に報告、協議し、円滑な業務遂行

ク その他の留意事項について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
① その他留意事項への対応	①・許認可及び届出等の手続について、必要な場合、これを行う。 ・施設の目的外使用の手続について、自動販売機他必要な場合、これを行う。 ・名札の着用について、施設職員はこれを実行する。 ・人権の尊重について、職員に対し人権に関する研修を年1回実	①その他留意事項について、計画通り実行しました。	①・許認可及び届出等の手続実施 ・自動販売機設置に伴う目的外使用手続の実施 ・名札の着用 ・人権に関する研修を年1回実施 ・近隣対策として、本牧市民公園内の環境維持

	<p>施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣対策の実行について、管理・運営上の近隣への迷惑行為には充分留意し、対策を講じる。 ・書類の管理について、施設の竣工図等重要書類を適切に管理する。 ・行政機関が策定する基準等の遵守について、これを行う。 ・法律の制定及び改正への対応について、これにより今後業務が発生した場合、市と協議のうえ対応する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の竣工図等重要書類の管理 ・行政機関が策定する基準等の遵守 ・法律の制定及び改正について、市と協議、対応
--	---	--	---

5 収支決算額について

収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	18,000,000	18,000,000	0	横浜市より
利用料金収入	4,160,000	4,248,700	-88,700	貸室利用料、貸室焼成料
事業収入	18,490,000	21,702,525	-3,212,525	自主事業収入（自主事業教室、粘土代等）
その他収入	350,000	373,058	-23,058	自販機売上手数料等
合計	41,000,000	44,324,283	-3,324,283	

支出				
人件費	12,670,000	12,057,319	612,681	給与、法定福利費、通勤費等
管理費	5,700,000	5,321,652	378,348	修繕費、水道光熱費、施設管理費等
（内訳）修繕費	1,000,000	970,550	29,450	修繕、メンテナンス
燃料費	400,000	353,974	46,026	LPガス、灯油
光熱水費	1,600,000	1,434,730	165,270	電気、水道
施設管理費	2,700,000	2,562,398	137,602	清掃、警備委託管理
事業費	17,360,000	14,989,573	2,370,427	粘土等商品仕入れ、講師報酬および交通費等
事務費	5,270,000	4,775,287	494,713	広告宣伝費、通信費、消耗品費、事務用品費、消費税等
合計	41,000,000	37,143,831	3,856,169	

収支計	0	7,180,452	-7,180,452	
-----	---	-----------	------------	--